

# 復興願いエイサー

久保田青年会 福島でじゃんがらと競演



中心街で行われたじゃんがらとの交流イベントで、エイサーを披露する久保田青年会＝18日午後、福島県いわき市

**読んで 読んかい NIE**  
 いわき市内各地で東日本大震災の犠牲者を慰霊し、  
 沖繩市久保田青年会のメンバー23人が18日、福島県から念仏踊り「じゃんがら念仏踊り」を沖繩に伝えたという袋中上人の出

身地。市中心部の平小太郎町公園であったじゃんがらとの競演では数百人の見物客から大きな拍手が送られ、交流を深めた。  
 津波の被害を受けた薄磯地区での慰霊行事も、い、袋中上人ゆかりの能満寺なども訪問。温泉地・湯本駅前の商店街を練り歩く道ジユネーには、地元エイサー団体や在京県出身者らの特別チームなども加わった。  
 実行委員長を務めたいわき市の建築業、新城憲一さん(50)は「福島で道ジユネーは初めて。本場のエ  
 イサーに皆目を輝かせていた」と喜んだ。  
 道ジユネーで青年会と一緒にカチャーシーを踊った同市の山崎八江子さん(73)は「犠牲者を弔う気持ちに感激した」と感想。商店街の豆腐屋に勤める柏原いつ子さん(63)は「腹の底に響く力強い音に元気をもらった」と話した。  
 青年会は、エイサーの地謡役でいわき出身の鈴木里志さん(31)の母京子さん(60)が勤める老人ホームも慰問。京子さんは「じやんがらと違う迫力がある」と笑顔を見せていた。